

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	子宮体癌に対する腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術導入時における術式を比較する研究
研究責任者	婦人科 小林浩治
研究実施体制	聖隷浜松病院 婦人科 小林浩治
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2021年7月31日
対象者	2019年6月から2021年4月まで当院にて子宮体癌に対する腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術を施行した症例
研究の意義・目的	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術には後腹膜アプローチと経腹膜アプローチの2つの術式があり、それぞれに長短があります。当院ではこの手術を開始するにあたり、両術式を採用しておこなってきました。それぞれの術式でのリンパ節郭清個数、手術時間、出血量、合併症の有無を調べることにより、腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術導入時における両術式を比較します。この研究をおこなうことで今後、当院においてどちらの術式を採用すべきか、あるいは症例によりどちらの術式を選択すべきか、の指針を得られる可能性があります。また、今後他施設でこの術式をおこなう上で参考になるデータを提示できる可能性があります。
研究の方法	カルテ記録、手術記録よりリンパ節郭清個数、手術時間、出血量、合併症の有無を調べ、後腹膜アプローチと経腹膜アプローチでそれらに差がないかどうか調べます。合併症があった場合は原因について手術動画を見て調べます。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 婦人科 小林浩治 TEL:053-474-2222(代表) 婦人科外来 9:00~17:00 平日